

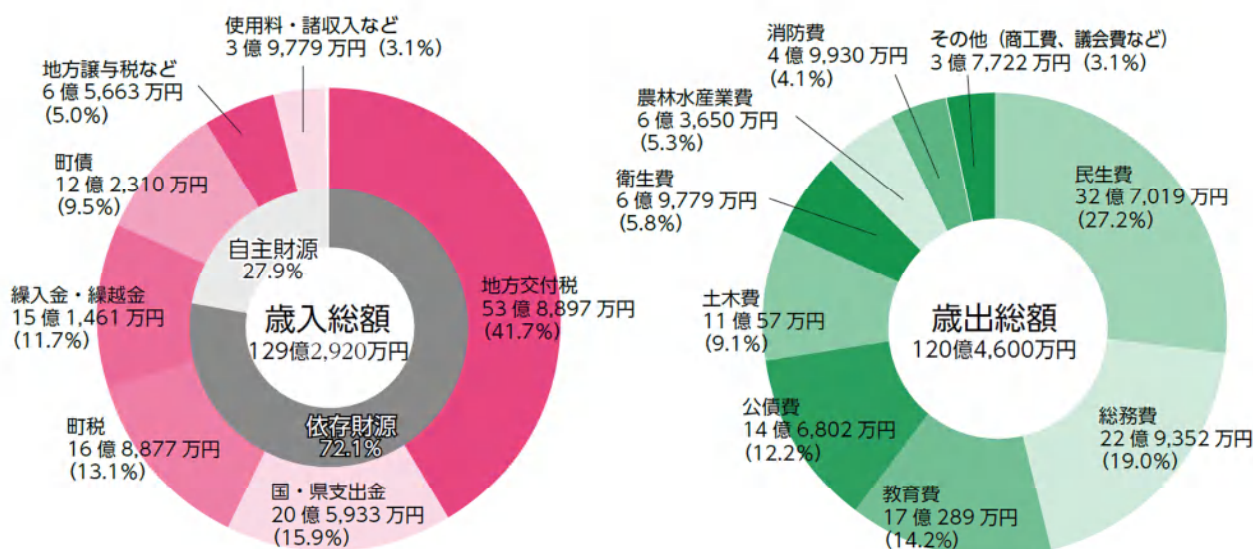
令和5年度決算のあらまし

令和5年度一般会計の歳入（収入）は129億2,920万円で、歳出（支出）は120億4,600万円であり、歳入歳出の差し引きは8億8,320万円となりました。

また、ここから令和6年度へ繰り越した事業の財源1億5,885万円を差し引いた実質的な収支は、7億2,435万円の黒字となりました。

令和4年度と比較して、歳入では、電力・ガス食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費補助金の皆減等により、国庫支出金が減少。一方で、本郷生涯学習センター等移転事業に係る借入等により町債が増加し、総額で9億6,843万円減少しました。

また、歳出では、新型コロナウイルスワクチン接種に係る事業費の減少により、衛生費が増加。一方で、物価高騰対応生活困窮世帯緊急支援事業補助金に係る事業により民生費が増加し、総額で12億5,158万円減少しました。



一般会計決算収支の状況

区分	令和5年度 決算額 (A)	令和4年度 決算額 (B)	増減額 (A)-(B)	増減率
歳入 (ア)	129億2,920万円	138億9,763万円	△9億6,843万円	△7.5%
歳出 (イ)	120億4,600万円	132億9,758万円	△12億5,158万円	△10.4%
差引 (ウ) =(ア)-(イ)	8億8,320万円	6億 5万円	2億8,315万円	—
翌年度へ繰り越す べき財源 (エ)	1億5,885万円	4,660万円	1億1,225万円	—
実質収支 =(ウ)-(エ)	7億2,435万円	5億5,345万円	1億7,090万円	—

特別会計及び公営企業会計の決算状況

特別会計及び公営企業会計は、特定の事業を行う場合に一般会計と区分して経理するもので、これらの令和5年度の決算額は次のとおりです。

会計名		歳入合計 (A)	歳出合計 (B)	差引額 (A)-(B)
国民健康保険		23億9,129万円	22億9,320万円	9,809万円
介護保険		34億3,913万円	31億448万円	3億3,465万円
後期高齢者医療		2億7,471万円	2億7,342万円	129万円
工業団地造成事業		5,828万円	5,828万円	0円
住宅用地造成事業		538万円	522万円	16万円
永井野財産区		18万円	15万円	3万円
水道事業 (公営企業会計)	収益的収支	4億7,650万円	4億1,569万円	6,081万円
	資本的収支	1億5,904万円	3億506万円	△1億4,602万円
下水道事業 (公営企業会計)	収益的収支	6億2,140万円	6億1,992万円	148万円
	資本的収支	2億34万円	3億4,759万円	△1億4,725万円

町債残高（借入金）の状況

町債とは、主に町民生活の基盤である道路や公園、学校などの長期間にわたって町民の皆様にご利用いただく公共施設を整備するときに、国などから借りのお金のことです。

会計名	令和5年度末 残高	令和4年度末 残高	比較
一般会計	106億5,859万円	108億6,714万円	△2億855万円
水道事業会計	6億6,487万円	6億7,729万円	△1,242万円
下水道事業会計	30億4,467万円	32億4,065万円	△1億9,598万円
合 計	143億6,813万円	147億8,508万円	△4億1,695万円

町民1人当たり残高 約78万円（昨年は約79万円）

（令和6年3月31日現在人口 18,386人）

一般会計の積立金（基金）の状況

基金の名称	令和5年度末 保有額	令和4年度末 保有額	比較
財政調整基金	46億4,198万円	49億5,789万円	△3億1,591万円
減債基金	2万円	2万円	0円
公共施設整備基金	29億271万円	28億9,060万円	1,211万円
国営会津宮川土地改良事業基金	1億5,743万円	1億5,742万円	1万円
その他基金	6億8,097万円	6億4,383万円	3,714万円
合 計	83億8,311万円	86億4,977万円	△2億6,666万円

町民1人当たり保有額 約45万円（昨年は約46万円）

（令和6年3月31日現在人口 18,386人）

（注）表示単位未満は四捨五入しており、積み上げ額と一致しない場合があります。